

第1回益城町まちづくり専門委員会【議事概要】

- ◆ 開催日時 平成29年12月8日（金）15：00～16：30
- ◆ 開催場所 益城町役場仮設庁舎1階会議室1
- ◆ 出席者数 出席12名、欠席2名
- ◆ 議事次第
 1. 開会
 2. 委員会要項の確認
 3. 委嘱状交付と委員の紹介
 4. 委員長の選任および副委員長の指名
 5. 説明事項
 - (1) 復興まちづくり計画の位置づけ
 - (2) 基本方針および都市防災の各種定義について
 - (3) まちづくり協議会の進捗について
 6. 審議事項 地区別提案について（7地区）
 - (1) 堂園地区
 - (2) 杉堂地区
 - (3) 田原地区
 - (4) 島田櫛島地区
 - (5) 安永地区
 - (6) 木山蛭子町地区
 - (7) 宮園地区
 7. 閉会
- ◆ 議事要旨
 - 委員会要項の確認（議事次第2）
事務局より、資料1に沿って説明。

【委員質疑】

- 計画作成が目的と言われたが、早期に復旧・復興をしていくことが目的ではないのか。
- ✓ 事業を推進していくためには、計画を策定する必要がある。本委員会では、各まちづくり協議会からの提案を計画に反映していくもの。計画に反映することで、事業が推進できるため、結果的に早期復旧・復興に繋がってくる。

- 委嘱状交付と委員の紹介（議事次第3）
- 委員長の選任および副委員長の指名（議事次第4）
 - 宮崎委員（町議会議員）を委員長に選任
 - 円山委員（熊本大学准教授）を副委員長に指名
- 説明事項（議事次第5）
資料2、3、4に沿って説明
- 審議事項 地区別提案について（議事次第6）
事務局より、資料5に沿って説明。

【委員討議】

- 地域によっては都市計画事業と重なるが、この委員会ではどのように扱うのか。
 - ✓ 蛭子町と宮園については、区画整理事業と重なっている。提案の内容を踏まえ、区画整理事業にも織り込んでいく。
- 本委員会の目的は、計画を作るだけでなく、事業の推進も考えるべき。
 - ✓ 提案書には、優先順位をつけている。事業は優先順位の高いものからやっていきたいと考えている。
 - ✓ 計画をつくるのが目的なのか、事業に繋げるために計画を作成するのかという質問。その点を明らかにしていただきたい。むしろ、事業計画に繋げていくということにしていきたい。
また、世帯数が多い地区と少ない地区で比較するのは難しい。世帯数が少ない地区でも優先度が高いこともあるだろうし、世帯が多い地区を優先するということもあるだろう。その考え方を本委員会で検討する必要がある。
 - ✓ 予算とも関係するので、先にやるべきことを精査していただきたい。
- 今後、まちづくり協議会はさらに立ち上がり、提案書が提出されてくる。今後の提案書の取り扱いについての考えを聞きたい。
 - ✓ 平成29年度でやれる分は早急にやっていく。また、来年度についても、概算で予算を取っている。
 - ✓ 今の説明では審議していくのは難しい。
- 集落部の道路について、地震等でアクセスできなくなることも考えられる。避難訓練でも2方向避難を原則としているので、それも計画に反映させて

いただければ幸い。

✓ ご意見として受け取った。

➤ 都市計画事業等の他事業との整合は図れているのか。

✓ まだ十分に擦り合わせはできていない。特に安永地区。関係機関と協議しながら進めていくことになる。

✓ そこをはっきりさせないと優先度の議論は難しいのではないかと。

➤ 道路構造令等との関係はどのように考えれば良いか。

✓ まちづくり提案で出てくる道路については、これで大丈夫と確認している。都市計画道路や幹線道路については、道路構造令等に則って整備していく。

✓ まちづくり提案で出てくるのはこのままで大丈夫ということだが、例えば、どうしても幅員6mを確保できない箇所が出てくるかもしれないが、それでも良いということか。

➤ 擁壁の復旧は復旧事業課でやると思うが、道の拡大はどこの予算でやることになるのか。

✓ 町の計画で位置づけられていれば、町の予算でやることができる。設計まで終わっていることが条件。

✓ 復旧予算ではなく復興予算と言われて進んでいない。早く予算を取り、早期着工を期待する。

➤ 提案事項全て事業化していくのか。

✓ 予算との兼ね合いもあるため精査していく。

✓ 優先順位を決めて事業化していくのか。

✓ 全部事業化するというわけではない。

➤ 今日の議論は何の議論なのか。

✓ 今日はまちづくり提案に載せるか載せないかの議論。

✓ 各地区からの提案内容を復興まちづくり計画に載せるか否かを議論するという事か。計画に載った後はどのように推進するのか。事業化の判断はどこでするのか。

✓ 復興まちづくり計画に載せるか否かの判断をいただきたい。事業化の判断は町で進めていき、本委員会に結果を報告する。

➤ 提案事項の優先順位は、まちづくり協議会からあがってきた優先順位と思う。その中で精査していく必要がある。

✓ 同じAランクでも扱いが違うことになる。

✓ Aランクの中でどのように優先順位をつけていくのか。事務局でやるということか。町の計画に載せるか否かを委員会で議論するという事か。

- ✓ 地区によって、『まちづくり提案（一次）』とあるが、これは、特に優先順位が高いものを提案してきたということか。
 - ✓ 急ぎ、避難路・避難地についての提案を出されたということ。それ以外の提案については、第二次以降で提出がある。
 - ✓ まちづくり協議会の中には、地域のコミュニティ形成を盛り込んでやっているところもある。その結果、提出が遅れている。
 - ✓ 各まちづくり協議会には、急ぎ避難路・避難地の提案をお願いするよう説明している。
- 復興まちづくり計画に載せるか否かだけをここで決めて、事業化の判断は事務局ということであれば、「載せるか否か」をもっと真剣に議論するか、事業化すると判断したものを議論するか、むしろ後者でないといけないと思う。
- 全てのまちづくり提案事項を一覧化した上で議論するならまだしも、各まちづくり協議会の提案書を見るだけでは判断できない。
- ✓ 事業化していく際は、まちづくり協議会と協議しながら決めていく。事務局で勝手に決めていくわけではない。
- まちづくり協議会の目的をしっかりと伝えないと、各地区は勘違いしていると思う。まちづくり協議会の主旨を伝える必要がある。
- ✓ まちづくり協議会の趣旨は説明している。そのうえで、第一に、急ぎ、避難路・避難地の提案をお願いする旨を説明している。
 - ✓ 説明されていない地区もある。目的から入っていかないと、勘違いされている地区もある。
- まだ提出されていない他の地区からの提出があった時には、また開催するのか。
- ✓ そのとおり。
- 提案事項を復興まちづくり計画の内容として問題ないと思われる方は挙手をお願いしたい。
- ✓ （全員挙手）
- 避難路・避難地については、今年度できる限り、早急に進めていく。円滑に進めていくためにも、すぐに事業化していく。
- 引き続き、各地区からまちづくり提案が提出されている。来年の1月末に次回委員会を開催したいと思う。

● 閉会

以上